



山形大学校友会
Yamagata University Alumni Association

校友会会報

23
MARCH 2024



初の「冬のスポーツテスト」 (校友会学生幹事企画)を開催しました

Contents

校友会 NEWS 2

「1日山形大学 in 仙台」を開催しました
交流プラットフォームに「1日山形大学 in 仙台」の
特設コーナーを設けました
令和5年度校友会大学院学生表彰式
(校友会長賞)を開催しました
山形大学卒業生等首都圏等ネットワーク総会、
山形大学同窓生セミナーを開催しました。

校友会学生幹事コーナー 4

TOPICS 6

INFORMATION 8

「交流プラットフォーム」の
サイトはこちらから
ご覧ください。



校友会キャラクター ぎんなちゃん
(登録商標第 6447093 号)

校友会とは...

校友会は、山形大学の発展に寄与するため、学生の学業及び課外活動等への助成並びに全学的なキャンパス間の交流活動に
支援を行うとともに、会員相互の親交を図り、「山形大学コミュニティ」の醸成・強化に資することを目的としております。

| 校友会 | NEWS |

1 「1日山形大学 in 仙台」を開催しました



坂井教授の講演

2023年11月26日(日)、仙台市のAERホールにおいて、「1日山形大学 in 仙台」を開催し、宮城県内に在住の保護者や卒業生の皆様を中心に、約150名が参加しました(主催:山形大学/共催:山形大学校友会/協力:山形大学生生活協同組合)。

これは、今年度の入学生の26.3%※を占め、これまで多数の卒業生を輩出している宮城県において、本学の卒業生・修了生及び在学生の父母等をはじめ、山形大学に関心のある方に“山形大学の今・教育・研究・社会共創・学生活動等”を知っていただくことを目的に今回初めて開催されたもので、山形大学からは、玉手英利学長をはじめ、6名の理事・副学長と6名の学部長(理学部は副学部長)が参加しました。※山形は22%

10時30分に開会した第1部では、玉手学長が山形大学の近況報告も兼ねて開会あいさつを述べた後、特別講演として人文社会科学部の坂井正人教授が「ナスカ地上絵研究ー人口衛星から人工知能へー」と題して講演を行いました。その後、学部長等から各学部の現状報告があり、最後は学生花笠サークル「四面楚歌」が10分間にわたり演舞を披露し、会場から多くの拍手をいただきました。1部終了後には会場内にて、「何でも相談コーナー」と附属農場と山形大学生協の物販コーナーが設けられ、多くの方で賑わいました。

引き続き、13時00分から会場を移して開催された懇親会では、矢作清理事・副学長(学生支援・校友会等担当)の発声で乾杯の後、歓談が行われ、各学部同窓会からの活動状況報告を聴きながら、宮城県在住の方々との懇親を深めました。

山形大学及び校友会では今後もこのような機会を設け、山形大学コミュニティを積極的に醸成・強化してまいります。



四面楚歌の演舞

2 交流プラットフォームに「1日山形大学 in 仙台」の特設コーナーを設けました



交流プラットフォーム 特設コーナー

2023年11月26日(日)に仙台市AERで開催した「1日山形大学 in 仙台」について、「交流プラットフォーム」内に特設コーナーを設けました。当日の様子を動画と画像で紹介しています。皆さま、ぜひご覧ください。

掲載コンテンツ

第一部

玉手英利学長あいさつ(動画)
特別講演「ナスカ地上絵研究ー人工衛星から人口知能へー」坂井正人教授(動画)
各学部活動報告(動画)
花笠サークル「四面楚歌」演舞(動画)
「なんでも相談コーナー」、附属農場等物販(画像)

第二部 懇親会

開会のあいさつ・乾杯(動画)
懇親会の様子(動画)
各学部同窓会・後援会活動報告(動画)
参加者からのメッセージ(動画)
閉会のあいさつ(動画)
山形大学からの御礼(画像)

山形大学から御礼

「1日山形大学 in 仙台」は初めての開催でしたが、多くの方にご参加いただき、山形大学が宮城県にしっかりと根付き、卒業生との絆を深めるきっかけとなりました。ありがとうございました。



懇親会

令和5年度に実施した事業の中から、特徴ある4つの事業を紹介します。

3 令和5年度校友会大学院 学生表彰式(校友会長賞)を 開催しました



玉手会長から一人ひとりに表彰状を交付

2024年2月20日(火)、令和5年度山形大学校友会大学院学生表彰(校友会長賞)表彰式を法人本部第一会議室で開催しました。

この賞は、山形大学の各研究科に在籍する大学院学生のうち顕著な学術研究活動を行った者に対し、山形大学校友会の事業として表彰し、大学院学生の研究意欲の向上と学術研究活動のさらなる活性化を図ることを目的としています。

今年度は、各研究科長から推薦された大学院学生の中から、理事会の議を経て14名の学生が選出され、表彰式には全員が参加し(うち5名はオンライン参加)、玉手英利会長(学長)から一人ひとりに表彰状が授与されました。

授与を終えた玉手会長は「皆さんの研究が国際的に、または地域社会から高く評価された意義は大変高いことです。支援いただいた「山形大学コミュニティ」に感謝の想いを馳せながら、後輩学生の研究もぜひ支援してください」とあいさつ。これを受け、受賞者を代表して瀬谷匡史さん(教育実践研究科修士課程教育実践専攻2年)が御礼の言葉を述べました。

14名の大学院学生の皆さん、誠におめでとうございます。益々のご活躍を祈念しております。



第一会議室参加者で記念写真

4 山形大学卒業生等首都圏ネット ワーク総会、山形大学同窓生 セミナーを開催しました



市岡会長の挨拶

2024年3月2日(土)、銀座・吉乃翔において、令和5年度山形大学卒業生等首都圏ネットワーク(以下、ネットワーク)総会と山形大学同窓生セミナーおよび懇談会を開催しました。

このネットワークは、「首都圏に居住又は勤務する山形大学の卒業・修了生及び教職員等との連携協力を図り、首都圏の山形大学卒業生等のコミュニティを醸成・強化し、山形大学の発展に貢献する」ことを目的として平成25年に発足したもので、対面での総会、セミナー終了後は4年ぶりの懇談会も開催し、約70名が出席しました。

総会は、市岡正彦会長(蔵王会関東支部)のあいさつで始まり、続いて、玉手英利学長(校友会会長)が、「ここ首都圏において山形大学コミュニティの醸成・強化のためにご尽力いただいていることに対して、学長として厚く御礼申し上げます」と来賓あいさつを述べたあと、5つの議題について審議・了承されました。

総会終了後には、校友会学生幹事の本田花さん(理学部3年)と矢口朔子さん(理学部3年)の司会により山形大学同窓生セミナーが開催され、矢作清理事の開会あいさつ、理学部1回卒の佐藤夏雄氏(国立極地研究所名誉教授)による卒業生講演「困難を乗り越え始動した日本の南極観測」、校友会学生幹事の活動紹介が行われた後、三井住友信託銀行仙台支店による「卒業生のための相続セミナー」が行われ、最後はネットワークの高橋慶一副会長が閉会のあいさつを述べました。

最後の懇談会は、小山清人顧問(前山形大学長)のあいさつのもと、市岡会長の乾杯の発声で始まり、大いに盛り上がり、最後は大泉征雄顧問(前ネットワーク会長)の閉会のあいさつでお開きとなりました。



司会の学生幹事

講演する佐藤夏雄氏

校友会 学生幹事コーナー

山大生の活動支援プロジェクト(VII)！成果発表会を開催しました



2024年2月16日(金)にオンラインで開催された「山大生の活動支援プロジェクト(VII)！成果発表会」について、校友会学生幹事の三船歩美さん(工学部1年)にレポートしてもらいました。

今回は「山大生の活動支援プロジェクト」と「山形大学と交流する会プロジェクト」から採択された6団体が参加し、プレゼン発表と活発な質疑応答が行われました。



法人本部1階打合せ室



矢作理事・副学長の講評(オンライン)



飯塚理事・副学長の講評

発表団体一覧

「山大生の活動支援プロジェクト」採択

●花笠サークル四面楚歌「Japan Week への参加」

入学式や花笠まつりなど県内外で80件ものイベントに参加している花笠サークル四面楚歌。スペインのセビリヤで行われた Japan Weekに参加するために旅費の一部として支援いたしました。学校への訪問やワークショップを通して現地の方々と交流し、言葉の壁をこえて一緒に踊る経験ができたそうです。

●山形大学弓道部

「男女学生弓道王座決定戦出場に向けて」

主に学生同士で技術を磨いている弓道部はSNSを用いて交流したり、東北の大学と練習試合を行ったりと活発に活動されています。12月に女子が1部リーグに昇格し、30年ぶりに男女そろって男女学生弓道王座決定戦に出場できるようになったため、弓道場の整備や弓具の購入などの費用を支援いたしました。

「山形大学と交流するプロジェクト」採択

●山形大学 SCITA センター学生スタッフ

「新実験のための研修会」

山形大学 SCITA センターは「やまがた未来科学プロジェクト」に基づいて理科活動を普及するため、県内外の小学生を対象としたイベントを数多く開催していらっしゃいます。イベント依頼の増加に伴い、新たな実験のための研修会費用の一部を支援いたしました。水と油を用いた実験を行い、多くの子供たちと交流できたそうです。

●山形大学模擬裁判実行委員会

「模擬裁判を通じた『地域社会への問題提起』」

半世紀以上の歴史を持つ模擬裁判実行委員会。今年は男性性犯罪被害者をテーマに模擬裁判講演が行われ、その会場借用費などを支援いたしました。幅広い年代の方が訪れ、性被害に対する意識の変化が見られたそうです。SDGsに関わるイベントに参加することで社会的な問題に目を向け、説得力のある講演につなげているとのことでした。

●山形大学まちの記憶残し隊

「山形のまちの人々の記憶を残したい!」

山形大学まちの記憶残し隊は、地域の記憶を未来に残すために結成された公認サークルです。写真や動画、オーラルヒストリーを記録してデジタルアーカイブとして残すためにカメラなどの機材費用を支援いたしました。今回は世界かんがい施設遺産に登録された七日町の山形五堰を記録したそうです。

●山形大学アカペラサークル Smile ☆

「定期ライブの開催」

多数のアカペライベントやコンサートに参加しているアカペラサークル Smile ☆。12月16日に開催された定期ライブの運営費用を支援いたしました。多くの来場者に元気を与えることができたそうで、これからも地域を元気にするためにライブやイベントへの参加、定期ライブを予定していらっしゃいます。

最後に「山大生の活動支援プロジェクト」代表者の矢作清理事・副学長、「山形大学と交流する会プロジェクト」代表者の飯塚博理事・副学長からそれぞれ講評をいただき、活動支援プロジェクト(VII)成果発表会は終了いたしました。

山形大学校友会はこれからも山大生の幅広い活動を支援していきます。来年度も多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

校友会公認キャラクター「ぎんなちゃん」の生態が明らかになりました！

身長：ぎんなん 10 個分

体重：ぎんなん 9 個分



- ・生年月日 山形高等学校設立の1920ごろ(らしい)の10/15 (1968年に植樹された銀杏によって姿を得た。ぎんなんのにおいによって銀杏にすいよせられていったそうだ。)
- ・産まれてからずっと大学を見続けていた。(学長の隣がお気に入りだったとか。学長が変わっても、ずっとそばにいたようだ。ただ「いる」ことしかできず、むしゃくしゃしていた・・・らしい。その時から、学長室を住处にしていた。(キャンパスが様変わりするたびに、学長室を見つけて住んでいた。むしろすごい。))
- ・校友会事務局に別荘を建設(?)、そこで寝泊まりをしている。それまでは銀杏の上らしいが、そこは狭かったようだ。
- ・夢はナスカの地上絵を見に行くこと。どうにかして教授たちに紛れ込めないか考え中。

性格

- ・いたずらっ子。姿を得てからというもの、ところどころにちょっかいをかけている。
- ・最近のブームは大学生に「おまじない」をかけること。疲れていそうな顔の子も、みんな寝てくれる。そのあとに焦ったような顔をして帰っていく子もいる。なぜだろう。
- ・一方で、「かわいい」とは言われても、人が寄ってきて、一緒にお話ししてくれないのが悩み。原因はぎんなんにあるようだ。特に秋。

好きなもの

- ・学長(いつも一緒に楽しくお話ししてくれる人だから)
ぎんなちゃん、学長と語る♪
https://ykouyu.yamagata-u.ac.jp/hcw2022_archive/conversation/

- ・帽子(寒がっていたら学長にもらった。暖かい。帽子の中が「山」かどうかはわからない。)
- ・学食でよく出ているから揚げ(人のものをよこからつまみ食い。ちょっとなので気づかれたことはない)
- ・やっぱり一番は、この山形大学。居心地がいいのだろう。

苦手なもの

- ・カミキリムシ(自分のマントや髪を食べようとするから)
- ・茶碗蒸し(ぎんなんが使われているから)
- ・雪(寒い。多い。雪の日は学長室か別荘にてあたたまる。)

特技・マイブーム

- ・特技はぎんなんのからを割ること。道具は使わない。
- ・いたずらのマイブームは、疲れた人間におまじないすること
- ・ほかのマイブームは、ぎんなんを落とすこと
- ・本人は「そうすればみんながお話ししに来てくれる」と思っている。

ぎんなちゃんにまつわる噂話

学長からもらったという帽子。どうやら代々学長からもらっているようだ。学長室を見つけてやってきたぎんなちゃんに帽子を渡すことは、学長の重要引継ぎ事項。ということは今の帽子って・・・?そして、帽子の形も学長によって変えるということも考えられたが、お財布事情でやめになった。

※今回明らかになったぎんなちゃんの生態は令和5年度校友会学生幹事の「調査」によって明らかになったものです。今後も引き続き「調査」を行っていきます。

第37回山形大学校友会理事会を開催しました

2024年2月20日(火)、法人本部第一会議室において第37回校友会理事会を開催しました。

今回もオンラインを併用し、出席理事・監事20名のうち10名はオンラインでの参加となりました。概要は、以下のとおりです。



オンライン出席者



会場の法人本部第一会議室

1. 令和5年度大学院学生表彰者(校友会会長賞)の決定について
専門委員会において決定された表彰者14名について報告があった。
2. 令和5年度校友会支援事業の進捗状況について
「令和5年度校友会支援事業の進捗状況」及び「令和5年度収支決算見込み」について説明があった。
3. 令和6年度校友会支援事業の基本方針(案)等について
「令和6年度校友会支援事業の基本方針(案)」が原案どおり了承された。
4. 山形大学校友会会則の一部改正について
「山形大学OB・OG会」を会則第8条第1項の賛助会員に加えることが了承された。
5. その他
「1日山形大学in 仙台」、「山形大学卒業生等首都圏ネットワークの活動状況」及び「令和5年度山形大学同窓生セミナー」について報告があった。

模擬裁判実行委員会の皆さんが来訪されました

2023年12月18日(月)、模擬裁判実行委員会のみなさんが校友会事務局へ来室されました。

この日来室されたのは、第51代委員長の丸田蒼さん(人文社会科学部3年)、第52代委員長の松井友哉さん(同2年)、第52代副委員長の鈴木花心さん(同2年)、同じく副委員長の千田さくらさん(同2年)の4人。

冒頭、第51代委員長の丸田さんから、12/1-2の第51回公演への協賛についての御礼と事業報告がありました。第52代のみなさんからは、次回公演テーマの検討状況についてお話がありました。新たな代への歩みを開始した山形大学模擬裁判実行委員会を、校友会は引き続き支援してまいります。



来室された模擬裁判実行委員会の皆さん



山形大学校友会は模擬裁判実行委員会を応援しています

山形大学校友会(会長:玉手英利学長)は、すべての在校生と卒業生、役員、教職員と退職者などの会員によって構成する「山形大学コミュニティ」で、山形大学や山形大学の学生などを支援する組織です。入学時に会費を納入いただいた山大学生(学生会員)の皆さんは、卒業後も引き続き山形大学校友会の会員です。昨年6月、「交流プラットフォーム」を開設しました。ぜひQRコードからWebサイトをご覧ください。



山形大学校友会事務局

TEL: 023-528-4087 E-MAIL: yu.kawayoshi@yomu.ac.jp
WEB: <https://yomu.yamagata-u.ac.jp/>



協賛広告 校友会は模擬裁判を応援しています

米沢工業会TH会総会・懇親会に参加しました

2023年11月11日(土)、銀座・吉乃翔において令和5年米沢工業会TH会総会・懇親会が開催され、校友会事務局から樋口浩朗事務局長が出席しました。

4年ぶりの対面会議となったこの日は、来賓等を含め約30名が参加。校友会支援事業の「同窓生と学生のつながり強化事業」の一環として、現校友会学生幹事の赤崎亮太さん(工学部1年生)と前校友会学生幹事の小野寺祐介さん・片岡小春さん(ともに工学部2年生)が参加しました。冒頭、寺田重人会長が挨拶でTH会の由来等を述べられた後、米沢工業会の大沼正国理事長が、近況報告を兼ねての来賓挨拶を行いました。



森教授の講演

引き続き、大学院有機材料システム研究科の森秀晴教授による講演会「サステナブル高分子 / ハイブリッド材料の開拓」が行われ、学生幹事をはじめ、活発な質疑応答がありました。

最後は、懇親会が行われ、同会東京支部の柿本支部長や神奈川支部の黒葛原支部長、人文学部卒業の落語家、立川志らびーさんが来賓挨拶するなど、盛会のうちにお開きとなりました。



参加者全員で記念撮影

ふすま同窓会仙台支部令和6年新春懇談会に参加しました

2024年1月20日(土)、JALシティ仙台においてふすま同窓会仙台支部令和6年新春懇談会が開催され、校友会事務局から樋口浩朗事務局長が参加しました。

会には、仙台支部から穴戸勇支部長はじめ11名、来賓としてふすま同窓会の横井洋子副会長はじめ6名の計17名が参加しました。来賓には、宮城県出身の現役学生として、第52代模擬裁判実行委員会の松井友哉委員長(人文社

会科学部2年)と校友会学生幹事会の佐藤珠穂子副幹事長(人文社会科学部2年)が、校友会支援事業の「同窓会と学生のつながり強化事業」の一環として初めて参加しました。

前半は穴戸支部長の挨拶や、横井副会長の来賓あいさつがあり、後半は、文理学部11回卒の菊地和彦さんがマスターを務めるハワイアン倶楽部による新春コンサートが行われ、生演奏とフラダンスを堪能しながら懇談を深めました。



初参加の松井さん(右)と佐藤さん(左)



コンサートマスターの菊地和彦さん

山形大学 東京サテライトの利用案内

東京都港区新橋に東京サテライトを設置(令和5年4月1日)しました。同窓会の役員会等で東京サテライトの使用希望がある場合は、校友会事務局までご連絡くださるようお願いいたします。

東京サテライトの利用状況を確認し、利用可能であった場合は、当日の解錠のための「暗証キー」及び「サテライト側マニュアル」をお送りしますので、マニュアルに従って「解錠」「施錠」の操作をお願いいたします。

山形大学東京サテライト

令和5年4月1日 OPEN

首都圏における山形大学の活動拠点や社会連携活動推進を目的に、教職員等の様々な活動をサポート！

【住所】東京都港区新橋2丁目1-6-1
新橋駅西口から徒歩30秒！

東京サテライト
(ニュー新橋ビル5F・516)

【新橋駅】
(丸山手駅)
(東京メトロ有明線)
(都営地下鉄浅草線)
(ゆりかもめ)

設備

イベント

同じビルや近くに大会議室(※有料)有り！

にここ貸会議室
(ニュー新橋ビル8F)
(例:54名15,000円/1時間)

ニュー新橋ビル
(ニュー新橋ビルB2F)
(50名16,445円/PM4時間)
※連絡申込・料金は別

AP新橋(徒歩4分)
(例:168名182,000円/4時間)

※会議室利用は各施設・費用負担となります

「交流プラットフォーム」への 登録案内

本サイトは、小白川・飯田・米沢・鶴岡の4キャンパスのイラストマップを掲載し、公認サークル、研究室、関連施設の情報収集と、「いいね!」や投稿による交流ができるほか、四季折々の風景をドローンや360°カメラで撮影した動画・画像で楽しむことができます。利用については、通常のサイト同様に閲覧できるほか、3種類(「交流会員」、「正会員」、「卒業生会員」)のカテゴリーに登録いただくことにより、よりユーザーニーズに適った交流が可能となっています。

「山形大学将来ビジョン」の「つながりから。」のDXツールとして、本学学生・教職員はもとより、卒業生、保護者、地域の皆さま等、本学に関わるすべての方のご利用をお待ちしております。



「交流プラットフォーム」の
サイトはこちらから
ご覧ください。



校友会への入会案内

校友会は、学生の修学、課外活動及び就職活動並びに全学的な交流活動の支援を行うと共に、会員相互の親交を図り「山形大学コミュニティ」の醸成や強化に資するために様々な事業を展開しています。具体的な事業は、会報に掲載しているとおりですが、これらの事業は、在学生、卒業生、役員、教職員及び本会趣旨賛同者の生涯会費(1万円)により行われています。

については、多くの皆さまにご加入をお願い申し上げます。会員(入学時加入会員除く)の方には、定期的に校友会会報や大学の様々な広報誌を送付しています。

入会申込手続き: 払込取扱票に必要事項をご記入の上、『郵便為替』により生涯会費1万円をお振り込みください。(払込取扱票は、校友会事務局にありますので、ご連絡ください。)

入会日: 会費の納入により入会となります。

メールマガジンへの登録及び 卒業生寄稿のお願い

●校友会では、メールマガジン「みどり樹通信」を毎月配信し、山形大学や校友会に関する情報を提供しています。メールマガジンは、校友会ホームページ上から簡単に申し込みができます。

●卒業生の皆さまからの寄稿を広く募集しています。山形大学や在学生への応援メッセージ、学生時代の思い出などなんでも結構です。

※ご寄稿いただける場合は、校友会事務局までお知らせください。

編集後記

校友会は、今年で設立18年目を迎え、在学生、卒業生及び教職員の皆様にも認知度が上がってきております。設立20周年を控え、さらなる認知度の向上に期待しております。

校友会事務局は、この4月から職員が大幅に入れ替わりますが、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(校友会事務局次長 鈴木)

山形大学校友会事務局

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL:023 (628) 4867 FAX:023 (628) 4185

E-mail:yu-kouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈校友会ホームページ〉<https://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>



校友会HP



X



Facebook



Instagram